



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2009, 91(5): 652-653

ISSUE DATE:

2009-02-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/142750>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成21年2月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第91巻 第5号

ISSN 0525-2997

vol.91 no.5

物性研究

2009 / 2

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し、討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu **90** (2008), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当個所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集部より

2009 年度「物性研究」会費納入について

2009 年度の「物性研究」の発行は下記の通りです。

Vol. 92 No.1-6 (2009 年 4 月号 ~ 9 月号)

Vol. 93 No.1-6 (10 月号 ~ 2010 年 3 月号)

個人会員は、郵便振替による前納制となっておりますので、2009 年度購読希望者は、本号にとじ込みの郵便振替用紙で、年額 9,600 円をお振込下さい。発送の準備がありますので、振込は 2009 年 3 月末までをお願いします。

中止は巻の切れめしかできませんので、2008 年度 (Vol. 91 No. 6 まで) で中止を希望の方は、至急、ご連絡下さい。本人から中止の連絡のない場合は、自動的に継続されますのでご注意ください。

2008 年度の会費が未納の方 (封筒に未納額を記載) は、早急にお振込くださいますようお願いいたします。

機関会員 (公費/請求書類の必要な場合) は、年額 19,200 円で、後払いが可能です。詳細は下記にお問い合わせ下さい。購読の中止は巻の切れ目しかできませんので、できるだけ早めにご連絡下さい。連絡の無い場合は、自動的に継続となります。

〒 606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物 性 研 究 刊 行 会

Tel. (075) 722-3540, 753-7051

Fax. (075) 722-6339

郵便振替口座 01010-6-5312

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

編集後記

方丈記に「行く川のながれは絶えずして、しかも本の水にあらず」と書かれたように、須らく万物は万古不易ではない。この雑誌も1943年に発刊された「物性論研究」の発刊以来、変転流転を経て1963年より「物性研究」として、基礎物理学研究所の協力のもとに、物性研究刊行会で発刊され続けているが、それとて永遠に続く訳ではない。それを実感させる出来事が先だって起こった。愛読者であれば奥付の印刷所の項目を見ていただければ、ごく最近、中西印刷に変わった事に気がつくかもしれない。実は「物性研究」と「素粒子論研究」の印刷をお願いしていたショウワドウ・イープレスが年末に突然倒産してしまったのである。年明けになってショウワドウに連絡がつかないということで軽いパニックになり、急遽別の印刷会社をお願いした訳である。世の中の不況の波をもろにかぶったのか、構造不況業種である印刷会社では避けられない事件なのか、俄かに判断し難いが、ある種の象徴的な出来事であった。

実のところ、印刷所の倒産はおろか学術雑誌の統廃合というのは珍しいことではない。よく知られているように戦前の最も権威の高い雑誌だったドイツの「Zeitschrift für Physik」はフランスの「Journal de Physique」、イタリアの「Nuovo Cimento」と合併してそれぞれの雑誌は消滅し、新しい「European Physical Journal」として生まれ変わった。しかしコミュニティの支えが乏しく「Physical Review Letters」の過半数がヨーロッパ発であることを考えると新雑誌の運命も安閑としていられない。これすらアメリカの「Physical Review X」に飲み込まれる恐れもある。翻って日本では古くから「Progress of Theoretical Physics」と「Journal of the Physical Society of Japan」が二つの物理学の雑誌として鼎立した状態になっている。「Progress」に、久しぶりにノーベル賞が出たと沸き立っているが、そういう一時的な盛り上がりはさておき、ヨーロッパで起こったことから鑑みても二雑誌鼎立状態が長く続くとは思われない。むしろ必然として統廃合のダイナミックスが生じるといった方が良い。今や論文雑誌のサイテーションの統計や合併に伴う人口分布の変化を物理学者が論じる時代である。このような雑誌の統廃合のダイナミックスも他人事として楽しめると良いのであるが。

(H. H.)

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

荒木 武昭 (京大・理・物理)
古賀 昌久 (京大・理・物理)
高橋 義朗 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
松本 剛 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
遠山 貴己 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
早川 尚男 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
和田 浩史 (京大・基研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
泉田 渉 (東北大・理・物理)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
波多野 恭弘 (東大・地震研)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
御手洗菜美子 (九大・理・物理)
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 91 卷第 5 号 (平成 21 年 2 月号) 2009 年 2 月 20 月発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 中西印刷株式会社

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200 円

会員規定

個人会員

1 会 費

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 01010-6-5312

2 送本中止の場合

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学 湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 91-5 (2月号) 目 次

○講義ノート

「第53回 物性若手夏の学校(2008年度)」 425

○編集部より

2009年度「物性研究」会費納入について 652

○編集後記 653

物 性 研 究 91-5 (2月号) 目 次

○講義ノート

「第53回 物性若手夏の学校(2008年度)」 425

○編集部より

2009年度「物性研究」会費納入について 652

○編集後記 653